再評価結果（平成２７年度事業継続箇所）

担　当　課：道路局 環境安全課
担当課長名：池田　豊人

事業名	地域高規格道路　島原道路（しまばらどうろ） 一般県道諫早外環状線（いさはやそとかんじょうせん）（諫早（いさはや）インター工区）	事業区分	地方道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県諫早市栗面町（ながさきけんいさはやしくれもまち）　至：長崎県諫早市貝津町（ながさきけんいさはやしかいづまち）			延長	４．３km

事業概要　一般県道諫早外環状線は、諫早市街地を通過・発着する交通を分散、導入することで、市街地内の交通混雑を緩和するものである。また、島原道路の一部を形成し、地域間の交流促進、産業の振興・経済活動の活性化に寄与する。

平成２０年度事業化	平成２２年度都市計画決定	平成２３年度用地着手	平成２３年度工事着手

全体事業費	約２１２億円	事業進捗率	４９％	供用済延長	０．０m
計画交通量	１４，０００台／日　（Ｈ４２）				

費用対効果分析結果	B／C	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体)　１．１ (残事業)　３．７	６０／２０４億円 事　業　費：59/203億円 維持管理費：1.2/1.2億円	２２０／２２０億円 走行時間短縮便益：169/169億円 走行費用減少便益：30/ 30億円 交通事故減少便益：21/ 21億円	平成２６年

感度分析の結果　残事業（全体事業）について感度分析を実施

【全体事業】交通量変動　：B/C=1.02～1.15（交通量　±10%）　【残事業】B/C=3.5～3.9（交通量　±10%）
事業費変動　：B/C=1.05～1.11（事業費　±10%）　B/C=3.3～4.1（事業費　±10%）
事業期間変動：B/C=1.04～1.12（事業期間±1年）　B/C=3.4～3.7（事業期間±1年）

事業の効果等
・都市内ネットワークの形成（諫早市街地の慢性的な交通渋滞の緩和による社会活動の活性化）
・高速道路から島原半島へのアクセス性の向上（地域間の連絡時間短縮による地域振興及び緊急医療の支援）

関係する地方公共団体等の意見
「諫早市」・「長崎県商工会議所連合会」・「一般国道57号等県南地域幹線道路整備促進期成会」より整備促進の要望が行われている。

事業評価監視委員会の意見
長崎県公共事業評価監視委員会において、審議の結果「事業継続」が妥当であると認められた。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
－

事業の進捗状況、残事業の内容等
平成２５年度末までの進捗率は４９％であるが、用地買収は８８％程度と進捗しており、今年度も、用地取得を継続しつつ、トンネルや橋梁等構造物の工事進捗を図り、平成２９年度の事業完成を目指す予定である。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
事業着手時には把握できなかった事案による工事費の増と一部の用地取得の難航が課題。引き続き工事及び用地取得の進捗を図るとともに、事業認定申請の手続きを進めて、平成２９年度の事業完成を目指す予定である。

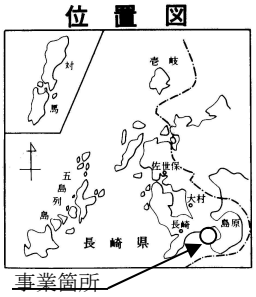
施設の構造や工法の変更等
ＪＲ軌道や高速道路への影響を考慮し、道路構造や橋梁架設工法等を変更している。

対応方針　事業継続

対応方針決定の理由
・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

位置図



※　総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※　総費用と総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。